

デザイン学部 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

デザイン学部は、時代とともに変化する人や価値観、文化の多様性を視野に入れ、さまざまな人の立場に立ったユニバーサルな視点で考えるデザインを基本に、快適に暮らせる生活空間や環境を提案し、国際社会の発展や文化の向上に貢献できる人材を育成します。

この教育方針の下、デザイン学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れます。

【デザイン学科】

- ・デザイン分野に強い関心をもち、幅広くデザインを学びたい人
- ・論理的な思考にもとづき、新しい価値の創出を目指す人
- ・直観力や審美眼をみがき、自らの発想を的確に表現したい人
- ・地球環境及び社会や地域に関心をもち、現状を分析して対応策を考えようとする人

1. 求められる基礎的能力

本学部で広くデザインを学び、さらに専門的な領域に進むにあたって、高等学校などの各教科・科目については、以下のことを身につけておいてください。

- ・国語：大学での学びの基礎となる読解力、論理的思考力、表現力とそれに関わる幅広い分野の基礎知識
- ・英語：異文化を理解する手段となる英語の読解力、英語による表現力とそれらを支える基礎知識
- ・地歴・公民：日本を含む世界の文化・歴史及び現代社会についての関心と基礎知識
- ・数学・理科：自然科学が扱うさまざまな原理・現象への関心と論理的思考力及びそれらを支える基礎知識
- ・美術：美術に関する基礎的な知識・技能、優れたモノやコトに接した経験、日常生活の中で美しさに気づく鋭敏な感性

2. 各選抜における評価内容

（1）学校推薦型選抜（公募制）

デザイン学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

一定の学力水準を備え、高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めており、出願には調査書全体の評定平均値が4.0以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度などを「面接」で評価します。さらに「小論文」で、読解力、論理的思考力、発想力、表現力などを評価します。

なお、本学の設立の趣旨に鑑み、静岡県内の高等学校出身者を一定数受け入れます。

（2）一般選抜（前期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「英語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」から最高得点の1科目を採用します。ただし「理科」のうち「基礎」を付した科目を受験する場合は2科目の合計とします。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験では、「実技」または「数学」を選択します。「実技（鉛筆描写）」を課す選抜では、観察力、発想力、表現力などを評価します。一方、「数学」を課す選抜では、数学に関する幅広い知識及び基礎的計算力に加え、さまざまな事象について数学を用いて理解し思考する力などを評価します。

（3）一般選抜（後期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「英語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」から最高得点の1科目を採用します。ただし「理科」のうち「基礎」を付した科目を受験する場合は2科目の合計とします。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「実技（鉛筆描写）」では、観察力、発想力、表現力などを評価します。